


ワーケーション推進事業 伴走支援者プロフィール情報

ふりがな	いしかわ たかし	
氏名	石川 貴志	
所属組織	一般社団法人 Work Design Lab	
略歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルート(リクルートエージェント):新規事業開発部門のマネージャーとして人材系サービスの立ち上げを推進。</li> <li>・SCSK(住商情報システム):EC サイト開発、企業向け基幹システム開発などプロジェクトマネージャーとして推進。</li> <li>・Work Design Lab 代表理事/代表取締役 CEO(現任):産官学連携にて、全国各地で産業振興・地域振興・人材開発のプロジェクトを推進。ワーケーション/ファミリーワーケーションを含む首都圏人材(複業人材)と地方を繋ぐ活動に注力。広島県福山市出身、3児の父。「育フェス CHUO(東京都中央区)」共同発起人・実行委員。</li> </ul>	
保有資格		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>(令和3年)観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」アドバイザー</li> <li>(令和4年)観光庁「ワーケーション推進事業」コーディネーター/アドバイザー</li> <li>(令和5年)観光庁「ワーケーション推進事業」アドバイザー</li> <li>(令和3年～現在)鳥取短期大学「創造的観光人材育成コンソーシアム」委員</li> <li>(令和5年)山陰インバウンド機構「山陰ツーリズム人材育成塾」講師</li> <li>(令和5年)北海道庁「ワーケーション受入実践による地域研修会」アドバイザー</li> </ul> <p>&lt;その他・公職等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務省地域力創造アドバイザー</li> <li>・情報経営イノベーション専門職大学客員教授</li> <li>・関西大学非常勤講師</li> <li>・福井市デジタル田園都市構想総合戦略会議委員</li> </ul>	
ワーケーション関連の専門性	<p>■専門性 ※該当箇所に☑をつけてください。</p> <p>☑子育て世代も参加可能な業務型ワーケーション実証事業</p> <p>☐デジタルノマド受入に向けた環境及び体制整備に関わる実証事業</p>	
ワーケーション関連の実績	<p>全国各地の産業振興・地域振興に関するプロジェクトにワーケーション/ファミリーワーケーションの要素を取り入れ、関係人口を拡大し、持続的なモデル形成を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(令和2年)岩手県住田町「複業及びワーケーション推進に関する連携協定」締結</li> <li>(令和2年)岩手県住田町「関係人口創出・拡大モデル事業」実施</li> <li>(令和3年)鳥取県庁「複業人材活用とワーケーション推進に関する連携協定」締結</li> <li>(令和3年)総務省「ワーケーションコレクティブインパクト in 鳥取」登壇</li> <li>(令和3年)広島県庁「都市・自然・コミュニティと創る『親子ワーケーション』」登壇</li> <li>(令和4年)八幡平DMO「ワーケーション推進事業」の伴走支援を実施</li> </ul>	

	<p>(令和5年)和歌山県庁「関係人口創出・拡大に向けたワーケーション受入促進事業」実施</p> <p>(令和4年、令和5年)東広島市「提案型課題解決事業(トルク事業)」実施 など</p>
申請を検討する事業者へ	<p>ワーケーション／ファミリーワーケーションはあくまで「手段」です。ワーケーターが快適に仕事をする環境を整えることはもちろんのこと、地域の魅力を伝え、さらには産業振興も視野に、持続的・継続的なモデルをつくることが大切です。地域の受入団体(＝地域事業者や自治体)の皆様の「目的(＝移住定住の裾野拡大、産業振興、地域振興、人材育成、サテライトオフィス誘致など)」によって、ワーケーションの全体設計は大きく変わります。</p> <p>一方で都市部を中心にライフスタイルに対する価値観は多様になり「地方でのライフスタイル(暮らし方・働き方・学び方・遊び方)」に対する注目は益々高まりつつあります。ワーケーションを通じて、人や事業を繋ぎ、地域の発展につなげていきましょう!</p>
<b>&lt;伴走支援マッチング希望&gt; 企業・地域の応募申請時</b>	
添削可能件数	<p>3～5 件</p> <p>※添削可能な件数をご記載ください。</p>